

## 検査中止および代替項目のご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り、誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

この度、外部委託先から下記の項目について、令和3年3月31日受付分をもちまして検査中止する旨の案内がありましたのでお知らせいたします。急な中止とご案内が遅れましたことお詫び申し上げます。先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後とも当検査センターをご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

- 受託中止項目 総合臨床検査案内 35、47 頁掲載  
項目番号：851  
項目名：TSHレセプター抗体(TRAAb、TBII) ※第1世代  
測定方法：RRA法（ラジオレセプターアッセイ）

- 代替項目  
項目番号：853  
項目名：TSHレセプター抗体 ※第3世代  
測定方法：ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）

注1) 他の代替項目として項目番号850、項目名TSHレセプター抗体(TRAAb)※第2世代がありますが、今後は項目番号853、項目名TSHレセプター抗体※第3世代に移行されることをお勧めします。

注2) 4月6日(火)受付分からOCR依頼書の851TSHレセプター抗体(免疫学)の位置は853TSHレセプター抗体※第3世代として読み取りさせていただきます。

※ なお、ご不明な点がございましたら下記にご連絡ください。

(担当：検査課 中田、山口 検査室 直通電話番号076-239-3832)

## ◆TSH レセプター抗体(第 3 世代) (No853)

TSH レセプター抗体(第 1 世代) (No851)の代替項目

項目 No	853
項目名	TSH レセプター抗体 (第 3 世代)
JLAC10 コード	5G310-0000-023-053-01
検体必要量	血清 0.5mL
専用容器	AO 汎用血液真空採血管 (分離剤入り)
保存方法	冷蔵
検査方法	ECLIA (電気化学発光免疫測定法)
基準値	2.0 未満 (IU/L)
所要日数	3~5 日
保険点数/判断料	226 点/144 点 (免疫学的検査)
備考	第 3 世代は、トレーサーに TSH レセプターに対するヒトモノクローナル抗体(M-22)を使用しています。また TSH レセプターに対する M-22 ヒトモノクローナル抗体と患者血清中の TRAb との競合反応は、液相で行われますが、第 1 世代と異なりトレーサーが TSH ではないので抗 TSH 自己抗体等の影響を受けることはありません。

### ●RIA 法から ECLIA 法への変更メリット

- 1) ECLIA 法で使用する M-22 ヒトモノクローナル抗体は TSH レセプターの刺激活性部位を認識する抗体のため、バセドウ病に対する陽性率(感度)、無痛性甲状腺炎に対する偽陽性率(特異度)共に優れた結果が得られています。
- 2) 国際標準品(NIBSC 1st IS 90/672 Standard)で較正されたキャリブレーターを使用しているため、定量的に TRAb の量を測定することができます。
- 3) 伊藤病院、隈病院、上條内科、栗原クリニック、高松内科、田尻クリニック等、全国の著名な甲状腺疾患専門医療機関が、「エクルーシス試薬 TRAb」を採用し、国際単位(IU/L)の測定値が使用されるようになりました。各専門病院との病診連携においてメリットになると考えられます。